

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（H29 年度）

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			人数や子どもたちに合わせ、ゆうのホールや園庭を使用している
	②	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準は満たしているが、支援の充実のため職員数が増えると良い
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		あおぞらの部屋が2階のため階段を上る必要がある。階段を使用する事が難しい子については、1階のホール等を使用している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	H30 年度より実施予定
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所内研修、事業所外研修を行っている
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用開始前に個別面談を行い、子どもの状況・保護者のニーズを把握し計画につなげている。半年に1回アセスメントを行い、日々のケース記録に基づいて、職員全員で利用者の状況を協議している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			日々のグループ活動など、職員全体で立案している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節行事を取り入れながら色々な経験ができるよう工夫している
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			土曜日はクッキングや社会体験などを取り入れ、長期休暇は季節に合わせて課題を決めている
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童の発達段階に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせた計画を作成している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			随時、打ち合わせが出来ている。 職員配置や役割分担の打ち合わせを必ず実施している

⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			日々子供たちの様子や、支援の内容の振り返りなどを行っている
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			その日の体調、機嫌、天気、温度なども記入し、療育の分析につなげている

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達管理責任者だけでなく、児童指導員等の職員も会議に出席している
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			下校時間に変動がある学校については、個別に送迎表を作り学校と共有している
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		対象児はいない 喀痰吸引研修を受けた職員を配置している また同法人に協力医療機関があるため、常に連絡を取れる体制を整えている
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	㉔	学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		事業所から提供が求められた場合、保護者や本人の同意の元、適宜提供を行っている
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			同施設内に児童発達支援センターがあり、常に連携を取り合っている また他圏域の施設にも見学等に行っている
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			柳井圏域のこども部会に参加している
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時に情報の共有と共通理解に努めている。必要に応じて、相談の時間を設けている	

	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者や支援者向けの講演会を定期的に行っており、その参加を促している
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っている また実費負担については、予約表に記入・メールマガジンで事前にお知らせしている
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			随時、保護者からの相談を受けている
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	あおぞら個別での父母の会は行っていない ゆうのペアレントメンターの茶話会など保護者の方へお知らせしている
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付窓口を設置するとともに、公共の窓口や市町の相談窓口を重要事項説明書および掲示にて周知している。相談や苦情には内容に応じて適任者が迅速に対応している
非常時等の対応	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月予約表に活動内容や案内を記載し、情報を発信している。法人の会報にも事業所のコーナーを作り、情報を記載している
	③5	個人情報に十分注意しているか	○			守秘義務の遵守に努めている。会報などに写真を掲載する場合は、保護者の許可のもと、加工して使用している
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			毎年お祭り(どんぐりフェス)を開催し、地域の方々にもお越し頂いている
	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回火災(消火)訓練等を行っている
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	現在該当児童なし

④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			給食やおやつを提供はしていない。調理実習などに参加される場合は、事前にアレルギーの有無を確認し、アレルギーが含まれる食材は使用しないようにしている
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	